

生命環境農学科

募集予定

10人

わたしの
AO入試
(現 総合型選抜)

地域ごとの特性に適した知識や技術を身に付けたい

水稻専業農家に生まれて農業高校に進学しました。高校で学ぶうちに、農業で生計を立てる難しさや高齢化による農家の減少など、今の農業を取り巻く課題が分かってきました。そこで、もっと勉強したいと大学を選んでいる時に、鳥大のHPに「知と実践の融合」という言葉を見つけました。その土地ごとに適した知識や技術の習得を望んでいたため、「私の学びたいことが学べる大学だ」と予感しました。幅広い分野を学ぶことができる4つのコースがあるのも魅力に感じて志望しました。農業高校生は推薦入試で大学に入るケースが多いですが、担任の先生から「AO入試もある」と教えてもらって、チャンスが増えるならと挑戦することを決めました。

その高校だから得られた経験や知識をアピールして

自己推薦書は、自分が伝えたいことを短く分かりやすい文章にまとめるのがとても難しかったです。高校時代に経験したことを通じて自分自身がどう成長できたのかを何度も振り返って書きました。1次が終わったらすぐに2次の面接練習を始めて、課題論文のテーマが届き次第取り掛かれるようにしておきました。グループディスカッションでは、テーマに沿って話を進めるだけでなく、みんなが話しやすいように場を整えることも意識しました。AOはこれまで頑張ってきた自分の人間性をアピールできる場です。特に専門学校生は、普通科ではできない経験をたくさんしています。その経験で得た実践力や専門知識などを、ぜひ発揮してください。

4年

しげた みずき
重田 瑞希 さん

広島県立庄原実業高等学校出身

MY FAVORITE TOTTORI

適度な田舎で住みやすい

やさしい人が多くて、適度な田舎で住みやすいです。自然が豊かで、アウトドアで楽しめることがたくさんあるのも魅力。オシャレなカフェが多いのもうれしいですね。

全文はWebで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2020年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2021年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

生命環境農学科では、自ら積極的に学び、傾聴力と協調性を持って学んだことを実践で応用できることを重視しています。高校時代に履修できる、あらゆる科目を積極的に学び、知力、体力、コミュニケーション力、気力、実践力の基礎を養ってください。

課題論文	「主体的に学ぶために、どのようなことが大切だと考えますか。あなたの学びや気づきの経験を十分ふまえながら、1,000字程度で具体的に説明しなさい。」という課題について、記述するものでした。
グループディスカッション	『「あの小学生の言動は大人だなあ。」と感心したり、「あのおじさんの対応は大人気ないなあ。」と、がっかりすることがあります。ここに出てくる「大人」というのは、単に年齢だけでは決まらないように思われます。では、「大人」とはどのような人のことでしょうか。皆さんのこれまでの経験や見聞を踏まえて議論し、「大人」と呼ばれる条件を3つにまとめてください。』というテーマについて、グループディスカッションを行いました(90分)。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり25分の面接を行いました。また、基礎的な英語についても試問しました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題解決に対する意欲
2次(課題論文・面接)	○	○	◎		◎
2次(グループディスカッション)			○	◎	